



《共通》

◆薬剤散布に係る事項について

1. 温暖無風の日を選び、枝先まで良く掛かるように手散布で枝先まで掛るよう丁寧に実施する。
散布する前に、SSや動噴を一時間ほど陽に当てて、あたためておくとよい。
2. 薬害防止のため、マシン油乳剤（スプレーオイル等）の二度がけは絶対に行わない。
3. 薬害（枝枯れ）対策として、低温時（朝・夕・一日低温等）には実施しない。
 - 1) 水分が凍り、マシン油乳剤の成分のみが残り、薬害につながる。
 - 2) 薬害が心配な場合は、マシン油乳剤30倍を50倍（水980当り20）に代えて使用する。
 - 3) マシン油乳剤の散布時期を逸した場合は、本年は実施を見送る。
4. カイガラムシの多い園では散布前にブラシ等でこすり落としておき、（薬剤防除効果が上がる）手散布で枝・幹部にしっかりと散布する。
5. なし以外で、スプレーオイルを散布した場合は、石灰硫黄合剤までの散布間隔を7日以上空ける。
6. 凍害防止のためワラを巻いてある場合は、ワラの中の主幹部に掛るよう、たっぷりしみ込ませるよう散布する。
7. ガットキラ乳剤散布前に、主幹部の浮いた皮カス等を軍手で軽く落とす。また、アメ（樹脂）等も取り除く。なお、ガットキラ乳剤は、「うめ」を除き、「落葉後」に散布を行った場合「発芽前」の散布はできない。

《プルーン・すもも》

◆コスカシバ対策特別薬剤散布について

1. 散布時期：発芽前 3月初旬頃 散布日 月 日
2. 調合量：水990当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展着剤	10mℓ	—	—
ガットキラ乳剤	1ℓ	コスカシバ・キクイムシ類	休眠期

3. 散布量：10a当り1500
4. 注意事項
 - ①幹・主枝・亜主枝等の太枝及び枝の分岐部へ重点（したたり落ちるよう）散布する。
 - ②散布する前に幹の稲ワラ・樹脂を取り除く。

◆カイガラムシ対策特別薬剤散布について

1. 散布時期：3月初旬頃 散布日 月 日
2. 調合量：水970当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
スプレーオイル	3ℓ	カイガラムシ類	発芽前

3. 散布量：10a当り2500
4. 注意事項
 - ①スプレーオイルに代えて、ハーベストオイル50倍（水980当り20）を使用してもよい。

《あんず》

◆カイガラムシ対策特別薬剤散布について

1. 散布時期：3月初旬頃 散布日 月 日

2. 調合量：水970当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
スプレーオイル	30	カイガラムシ類	発芽前

3. 散布量：10a当り2500

4. 注意事項

①スプレーオイルに代えて、ハーベストオイル50倍（水980当り20）を使用してもよい。

◆コスカシバ対策特別薬剤散布について

1. 散布時期：発芽前 散布日 月 日

2. 調合量：水990当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展着剤	10m0	—	—
ガットキラー乳剤	10	コスカシバ・キクイムシ類	休眠期

3. 散布量：10a当り1500

4. 注意事項

①幹・主枝・亜主枝等の太枝及び枝の分岐部へ重点（したたり落ちるよう）散布する。

②散布する前に幹の稲ワラ・樹脂を取り除く。

◆第1回薬剤散布について

1. 散布時期：発芽前（3月中旬頃） 散布日 月 日

2. 調合量：水900当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展着剤	10m0	—	—
石灰硫黄合剤	100	越冬病害虫・ハダニ類・カイガラムシ類	発芽前

3. 散布量：10a当り=2500以上

4. 留意事項

①コスカシバ・カイガラムシ類対策の特別薬剤散布を実施した場合は、散布間隔を一週間以上空ける。

《う め》

◆コスカシバ対策特別薬剤散布について

1. 散布時期：発芽前 3月初旬頃（発芽前） 散布日 月 日
2. 調 合 量：水99ℓ当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	10mℓ	—	—
ガットキラー乳剤	1ℓ	コスカシバ・キクイムシ類	休眠期

3. 散布量：10a当り150ℓ
4. 注意事項
①幹・主枝・亜主枝等の太枝及び枝の分岐部へ重点（したたり落ちるよう）散布する。
②散布する前に幹の稲ワラ・樹脂を取り除く。

◆第1回薬剤散布について

1. 散布時期：3月上旬頃（発芽開花前） 散布日 月 日
2. 調 合 量：水90ℓ当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	10mℓ	—	—
石灰硫黄合剤	10ℓ	ハダニ類・カイガラムシ類	発芽前

3. 散布量：10a当り=300ℓ以上
4. 留意事項
①開花してしまっている場合は、本薬剤散布を見送る。

《オウトウ》

◆コスカシバ対策の特別薬剤散布について

1. 散布時期：発芽前 散布日 月 日
2. 調 合 量：水99ℓ当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
展 着 剤	10mℓ	—	—
ガットキラー乳剤	1ℓ	コスカシバ	休眠期

3. 散布量：10a当り150ℓ
4. 注意事項
①幹・主枝・亜主枝等の太枝及び枝の分岐部へ重点（したたり落ちるよう）散布する。
②散布する前に幹の稲ワラ・樹脂を取り除く。

